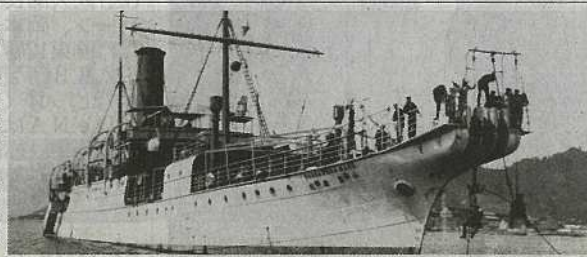


南樺太引き揚げ船沈没80年 迎える命日 祈る平和

終戦直後に南樺太(現ロシア・サハリン南部)からの引き揚げ船3隻が北海道・留萌沖で潜水艦の攻撃を受け、計約1700人が死亡・行方不明となった「三船遭難事件」は22日、発生から80年を迎える。



沈没した海底ケーブル敷設船「小笠原丸」(郵政博物館提供)

「このうちの1隻は海底ケーブル敷設船「小笠原丸」(享年38)のこの5年8月15日の終戦後、ソ連軍の侵襲が続く南樺太で民間人の避難に協力。小樽に向かっていた同22日未明、ソ連海軍とみられる潜水艦から魚雷攻撃を受けて沈没。乗客乗員約640人が犠牲になった。

と、旧通信省の敷設船として建造され、北海道と樺太間の工事に従事していた小笠原丸は1945年8月15日の終戦後、ソ連軍の侵襲が続く南樺太で民間人の避難に協力。小樽に向かっていた同22日未明、ソ連海軍とみられる潜水艦から魚雷攻撃を受けて沈没。乗客乗員約640人が犠牲になった。

長崎に残された田中さんの一家も米軍の原爆投下で被災した。清さんの戦死の報が届いた後も遺骨は戻らなかった。トモさんは被爆による健康不安を抱えながら、島田さんら3人の子を育てた。94年、事件海域に近い増毛町で小笠原丸の慰霊行事に親子で初めて参列した際、トモさんは涙を流していた。島田さんは「つらい様子をあまり見せなかったが、『やっと会えた』という気持ちが強かったのだろ」と振り返る。

毎年8月22日を迎えるたび、事件が「忘れられつつあるのでは」と心を痛める。「戦争がなければ父の死も原爆投下もなかった。戦争だけは絶対に繰り返してほしくない」と強調した。

地球に近づく小惑星を調査

2029年に地球に最も接近する小惑星「アポフィス」を調査する欧州宇宙機関(ESA)の計画に日本が参加をめぐることが20日、分かった。ESAの探査機を日本のH3ロケットで打ち上げる方針だ。

H3で探査機打ち上げ

開発などで貢献する。28年の打ち上げに向けて、文部科学省が26年度予算案から概算要求に盛り込む。11月に開催する予定のESAの閣僚級会合で正式に決定する見通しだ。H3ロケットで打ち上げるのは「ラムセス」と呼ぶ探査機だ。アポフィスは直径が300メートルほど、29年に地球をかすめるように最接近する。ESAは接近の約2カ月前

にラムセスを送り込む計画で表面の硬さや成分、内部の隙間を調べるなどする。ラムセスは宇宙航空研究開発機構(JAXA)が28年の打ち上げを目指す宇宙探査機「DESTINY+」(デスティニープラス)と一緒にロケットに搭載することを検討している。DESTINY+は別の小惑星に向かう前にアポフィスに近づいて観測をする予定で、2機を同じロケットで打ち上げて費用を抑えるようにしている。

内容に阿部俊子文部科学相に答申した。政府は本年度中に現行表記法を定めた1954年の内閣告示を改定する。ローマ字表記の国の決まりが約70年ぶりに変わる。ことなる。内閣告示は「し」を「s i」と表す訓令式を用いると定めるが、社会生活では「sh i」のヘボン式が浸透しており、文化審議会が昨年5月に諮問を受け、統一的な表記を検討している。

兵庫知事への告発状受理情報漏洩問題で地検高松元彦兵庫県知事の疑惑告発者の私的情報漏洩問題で、井ノ本知明元総務部長が県議に漏らし、斎藤氏と井ノ本安孝元副知事が関係と疑いがあるとして、上戸地検に出した地方公務員法違反容疑の告発状が20日、受理された。関係者が明らかにした。地検が斎藤氏の指示の有無などを慎重に捜査する。

トライ、新潟で教材研修水俣病の誤表記問題受け「家庭教師のトライ」の運営会社トライグループ(東京)が水俣病は「遺伝する」と教材に誤表記した問題で、同社は20日、新教材作成のため新潟県阿賀町などで現地研修を実施した。原因企業の工場跡を視察し、新潟水俣病の被害者とも交流した。

教材作成担当の社員らが参加、被害者と面会し、阿賀町の魚を食べてきた生活の様子や、水俣病の症状について話を聞いた。

建物解体の石綿除去作業

建物解体に伴うアスベスト(石綿)除去作業中に、粉じん飛散防止のため密閉された空間での事故が相次いでいる。発電機使用で一酸化炭素(CO)中毒になるケースもあり、専門家は「対策が十分ではない現場もある」と指摘。飛散性が高い石綿建材を含む建物の解体は2028年度(30)にピークを迎えるとい

発電機使いCO中毒も

4月に起きた大阪市のビル解体現場の事故で、石綿除去作業中に、密閉空間で発電機を使用していたとみられる。石綿被害が社会問題化する中、国は06年に国家資格「石綿作業主任者」を設け、現場での責任を義務付けた。しかし協会の姫野賢一郎理事長は、資格取得に実地研修がないことや、更新不要であることが挙げ、「作業員

が知識や経験の足りないまま現場に出てしまう要因となっている」と指摘する。国土交通省によると、石綿建材は1950年代から使用され、粉じんが出やすい石綿を使ったビルなどの大規模建造物は、使用が全面禁止となった2006年までに約280万棟建てられた。耐用年数などから、解体される建物が10万棟に達する28年度ごろが工事のピークとされる。

姫野理事長は除去作業が増えるにつれて、事故が相次ぐと懸念している。25年3月、東京都千代田区のビル解体現場で、作業員16人がCO中毒となり病院に搬送された。5月には堺市の工事現場で、3人が倒れ、うち1人は一時意識不明となった。いずれも石綿除去作業中、密閉空間で発電機を使用していたとみられる。

石綿被害が社会問題化する中、国は06年に国家資格「石綿作業主任者」を設け、現場での責任を義務付けた。しかし協会の姫野賢一郎理事長は、資格取得に実地研修がないことや、更新不要であることが挙げ、「作業員が増えるにつれて、事故が相次ぐと懸念している。」

文化審議会は20日、ローマ字の表記方法について、現在広く使われている「ヘボン式」に基づきつつ、方々を採用するものとすることを促した。

ただ、今後各分野で改めて表記の在り方を検討する場合は、今回の改定内容を参考として対応することを促した。

また、はねる音「撥音」の「ん」は「n」を用い、「an man(あんまん)」などとし、つまる音「促音」は最初の子音を重ねて「teppan(鉄板)」などと表記する。ただ、今後各分野で改めて表記の在り方を検討する場合は、今回の改定内容を参考として対応することを促した。

井山が覇権奪還5連覇通算11期、最多記録更新将棋の第66期王位戦7番勝負第4局は1920の両日、福岡県宗像市で指され、挑戦者で後手の永瀬拓矢九段(32)が130手で藤井聡太王位(23)に破って今シリーズ初勝利を挙げ、対戦成績を1勝3敗とした。



3月、東京都千代田区のビル解体現場近くに集まる消防隊員ら。作業員16人がCO中毒となり病院に搬送された。

大坂市中央区の繁華街・道頓堀で発生したビル火災で、犠牲になった消防隊員2人の死亡推定時刻が火災現場に到着した約10分後だったことが20日、大阪府警への取材で分かった。2人は消火活動中に5階天井が崩落し、ビルに取り残されたとみられる。死因は酸素欠乏による窒息で、府警などが詳しい経緯を調べている。

府警などによると、火災は18日午前10時に発生した。亡くなった消防司令森貴志さん(56)と消防士、長友光成さん(22)らは午前10時ごろ現場に到着。7階建てビルの1

馬場彰氏死去
オンワード樫山元社長 89歳

89歳だった。連絡先は同社秘書・広報室。お別れの会を行うが日取りなどは未定。喪主は長男、悟氏(評論家ヒジメス一平)に神奈川県出身。1995年に樫山(現オンワードHD)に入社し、紳士服の営業で頭角を現した。74年には38歳の若さ

で社長に就任。会長時代も含め約30年にわたり経営トップを務めた。バブル崩壊後に経済が停滞した90年代以降には、女性衣料の新ブランド「組曲」23区を相次いで投入。年商100億円を超える基幹ブランドに育て、アパレル大手としての存在感を確固たるものにした。2013年2月、日本経済新聞に「私の履歴書」を連載した。

高橋 靖氏(たかはし・おさむ)元大日精化工業社長。8月18日、膵臓がんのため死去。91歳。連絡先は同社総務部。告別式は9月2日午前10時30分、東京都・増上寺光徳院。喪主は養子で同社長、弘二氏。

将棋の第66期王位戦7番勝負第4局は1920の両日、福岡県宗像市で指され、挑戦者で後手の永瀬拓矢九段(32)が130手で藤井聡太王位(23)に破って今シリーズ初勝利を挙げ、対戦成績を1勝3敗とした。

日経MOOK

発行:日経BP 日本経済新聞出版 発売:日経BPマーケティング
https://bookplus.nikkei.com/

よくわかる/ 実家と会社の相続

2025年版

監修 ランドマーク税理士法人

定価 1,760円(10%税込) 978-4-296-12358-2



3つの資産の相続対策

◎2025年はどうなる? 実家の相続対策のはじめどき
◎地価上昇や税制改正で気をつけたいポイント
◎会社を引き継ぐタイミングと上手な承継方法

◎相続手続きをスムーズに進めるための事前準備
◎金融資産は不動産、保険、生前贈与で対策を
Quizチェック! 知っておきたい相続キーワード

特別対談
「若者世代も知っておきたい“相続”への備え」
伊沢拓司さん
QuizKnock
× 清田幸弘さん
ランドマーク税理士法人
代表税理士